

「浜松市の豊かな保育施策」を求める要望書



—子どもたちの健やかな成長と希望ある子育てのために—

団体名 浜松市保育団体連絡会
所在地 浜松市
代表者 金子 敦史

要望趣旨

どんな地域どんな家庭に生まれても、すべての子どもたちは幸せに生きる権利があります。国や市町の宝である今を生きる子どもたちを、豊かに育てることは私たち大人の責任であり、よりよい保育を次世代の子どもたちに残していくことは、社会の責任です。

新型コロナウイルス感染症は、多くの感染者や死者がでました。現在、感染者数は落ち着いていますが、今後も予断を許さない状況です。保育所はコロナ禍でも開園し、保護者の労働を支えています。乳幼児の集団生活では、子どもも職員も密集・密接は避けられません。私たちは感染症対策を学習し、各園で対応しながら、先の見えない不安の中で働いています。

私たちは加盟団体で、保護者、職員にアンケートをとり今回は要望書にまとめました。今後も保育所等が子どもの成長発達を支え、保護者や地域の子育て支援の役割を果たしていくために、人的・物的環境の整備は不可欠です。子どもの命と育ちを守るため、以下の点について要望いたします。

要望事項

I. 保育士の配置基準、処遇改善についての要望

①保育士の配置基準について

保育の質を確保しながら安全に子どもを保育するために、特に幼児クラスの配置基準の抜本的な改善を浜松市として国に求めると共に、市独自の改善策を検討・実施してください。

②保育士不足と処遇改善について

保育士は、全職種の平均賃金と比べ賃金水準が低く、保育士不足の要因になっています。安全・安心な保育、安定的な保育士の確保を図るため、保育士の更なる処遇改善を要望します。

II. 新型コロナウイルス感染症等についての要望

①予備保育士の拡充について

コロナ禍でも基本的に開所が求められている保育施設では、職員確保に厳しさを感じています。事業を継続するために定員数に応じた予備保育士の拡充をしてください。

②PCR検査の実施について

新型コロナウイルス感染者が園の関係者に出た場合、いち早く園を再開するため、職員と園児全員のPCR検査を無償で実施してください。

III. 放課後児童会についての要望

①施設の確保と増設について

小4の壁は避けられない児童会が多く、学年が上がると入所できず困っている家庭が多くあります。希望の多い地区の施設の確保、増設を要望します。

②質の確保と向上について

児童会により、内容や対応の差が感じられます。どこの放課後児童会でも質の確保と向上が図られる体制を要望します。